

# 新経済連盟「新経済人育成貢献PT」 “出張授業”について

2015年2月24日

「初等中等教育段階における起業家教育の普及に関する検討会」資料

Hello, Future!



# ◇新経済人育成貢献PT 概要

## ■ メンバー



リーダー: 奥谷 禮子  
(ザ・アール)



副リーダー: 井上 智治  
(井上ビジネスコンサルタンツ)



副リーダー: 生駒 富男  
(ウィザス)



メンバー: 由利 孝  
(テクマトリックス)

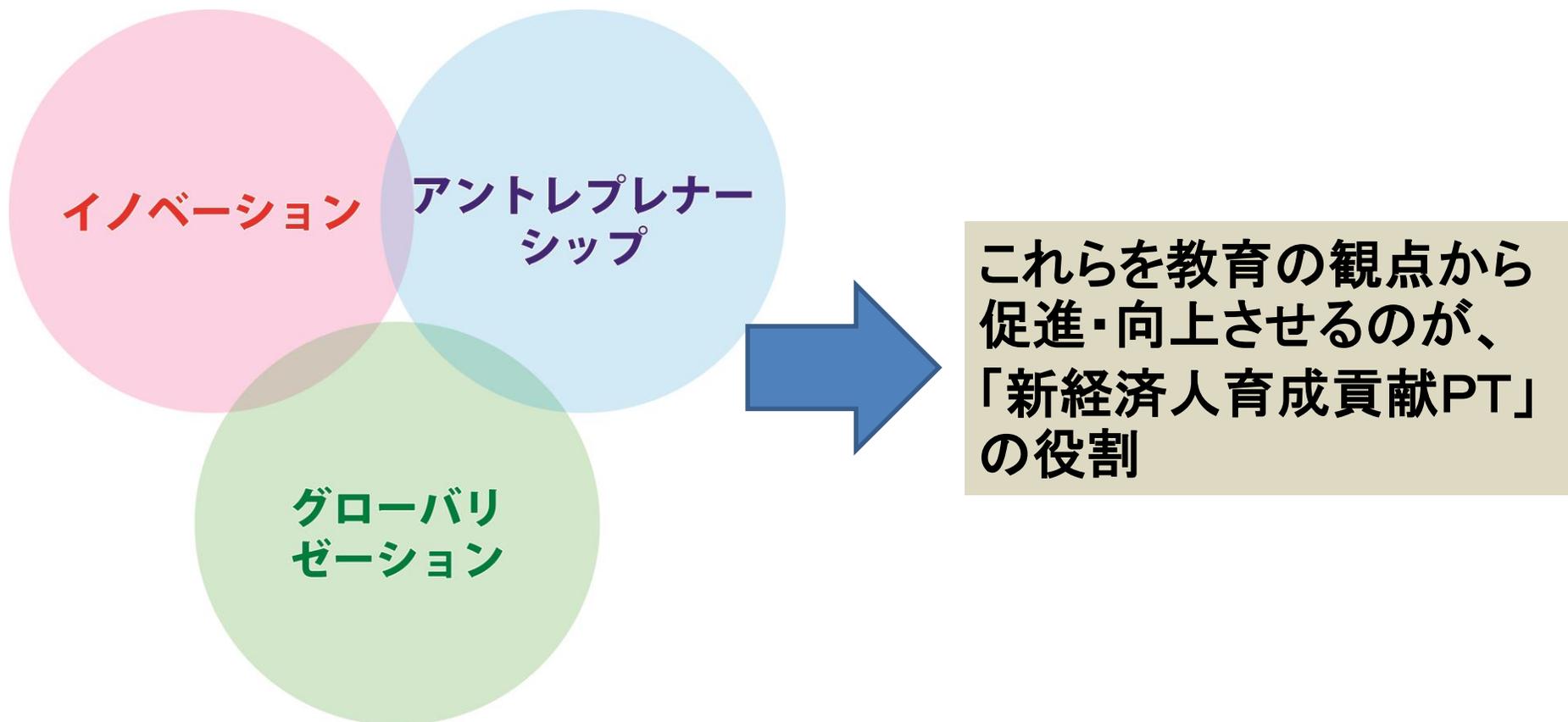
## ■ 目的

**次世代のイノベイティブな人材育成に寄与する具体的な  
社会貢献活動の実施**

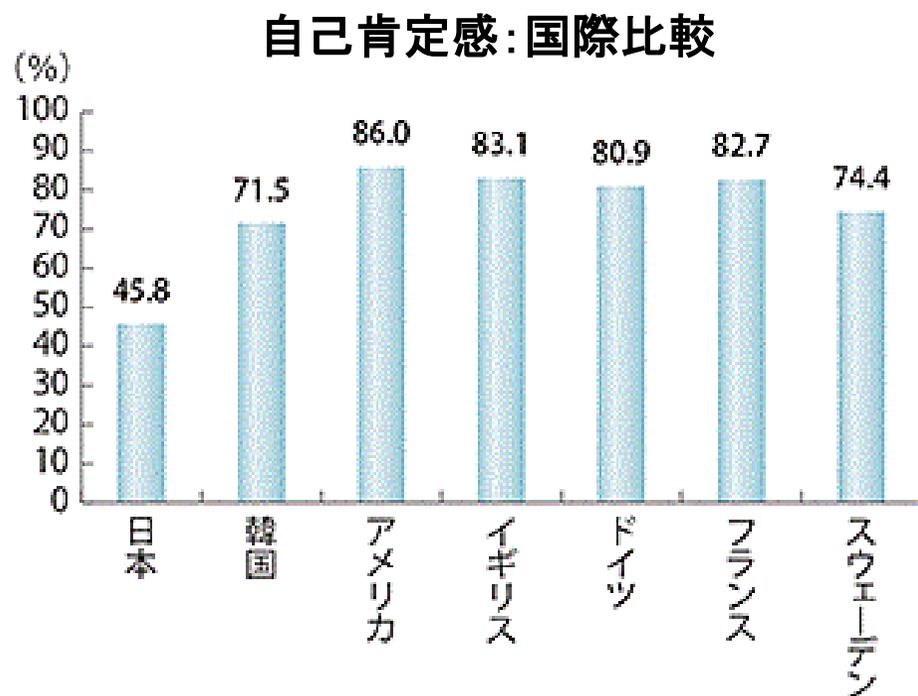
- **学生を対象とした出張授業を開催**
- **出張授業開催後、授業動画提供し外部へ情報発信**

# ◇新経済連盟の目指すもの

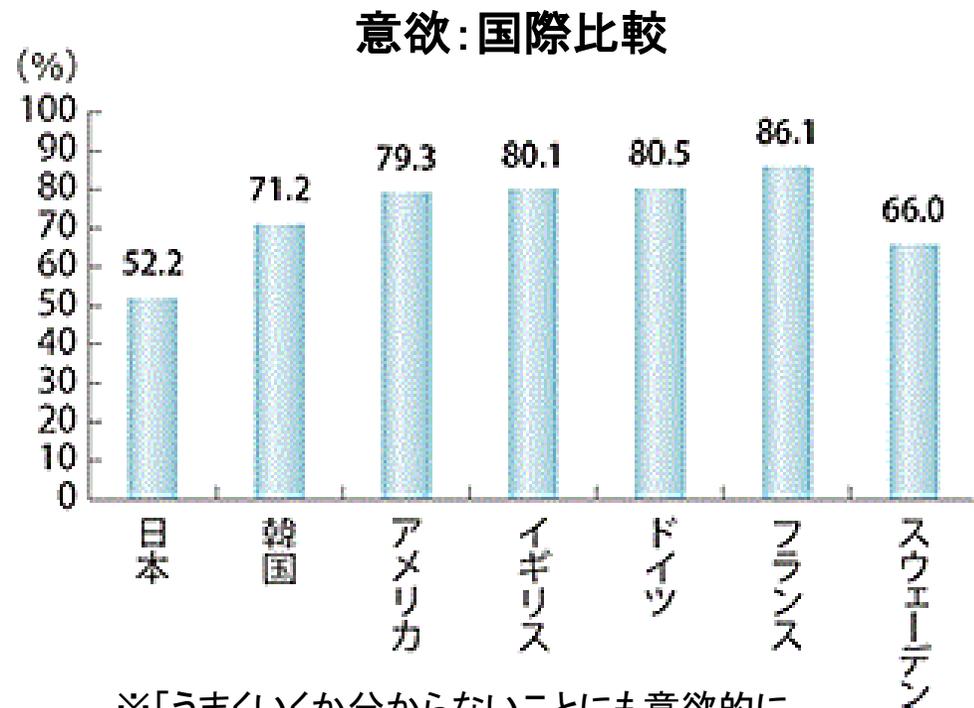
3つの理念を推進することにより、新産業の創出、日本の競争力強化を目指す。



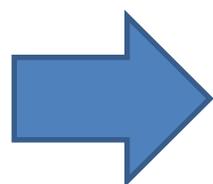
# ◇日本の子供の現状



※「自分自身に満足している」割合(13~29歳)  
<平成26年度版「子ども・若者白書」より>



※「うまくいか分からないことにも意欲的に取り組む」割合(13~29歳)  
<平成26年度版「子ども・若者白書」より>



日本の子供は、国際的に見て、「自信」や「意欲」が低い水準にある。

# ◇「新経済人」とは？

新経連が考える「新経済人」=イノベーション・アントレプレナーシップ・グローバルイノベーションに基づく以下のマインド・能力を備えた人物

- イノベーション⇒
  - ・創造性(自ら新しいものを生み出す意欲)
  - ・チャレンジ精神(難しいこと、厳しいことに挑戦する心)
- アントレプレナーシップ⇒
  - ・粘り強さ(失敗しても諦めず、何度でも立ち上がる精神)
  - ・問題解決能力(問題が何かを見極め、その解決に必要な方策を適切に選択し、それを実行できる能力)
  - ・失敗力(失敗しても、それを次なる成功のための教訓・ヒントと考えることのできる能力)
  - ・リーダーシップ(自ら先頭に立ち、チームを統率する能力)
- グローバリゼーション⇒
  - ・自信(自分ができる、という強い気持ち)
  - ・コミュニケーション力(他者とのコミュニケーションによって人の輪を広げていける能力)

## ◇「出張授業」が目指すもの

---



こういったマインド・能力を備えた人間養成のため、新経連メンバーによる「出張授業」を実施

⇒必ずしも経営者を養成するための教育ではなく、社会で生きていくうえでの総合的な人間力を高めるための教育

## ◇「出張授業」の特色

- 自ら会社を立ち上げ、現在も第一線で活躍している現役の経営者が、直接、学生に語りかける形式。
- 現場の経験に基づく活きた情報を通して、学生が「社会で生きるということ」「働くということ」に真剣に向き合い、自分の将来について考える一つの契機となることを目指す。
- 特に新経連には、IT、ゲーム、広告等、クリエイティブで若者と接点が多い企業が多く参加しており、そのような事業を先導する経営者と直接語り合えるこの機会は、学生にとって大きな刺激になると思われる。

## ◇「出張授業」の実績

- 品川女学院にて、奥谷禮子・幹事（株式会社ザ・アール会長）が講演＜2014年6月27日＞
- 海城高校にて、内藤裕紀・幹事（株式会社ドリコム社長）が講演＜2014年11月22日＞
- 青山学院にて、  
三木谷浩史・代表理事（楽天株式会社社長）  
藤田晋・理事（株式会社サイバーエージェント社長）  
熊谷正寿・理事（GMOインターネット株式会社社長）  
が講演＜2014年12月13日＞

# ◇「出張授業」での工夫

## ■ 品川女学院（奥谷禮子・幹事）

- ・起業をテーマとした講演後に生徒が「女性がどうすればリーダーシップを身につけられるのか」について、グループディスカッション及びプレゼンテーション。
- ・生徒に対し、事前に「リーダーに必要な資質」等に関するアンケートを実施。

## ■ 海城高校（内藤裕紀・幹事）

- ・自身の母校で講演。高校時代の話をお互に交えることで、同校での体験を共有する生徒が自身のこととしてイメージしやすく。

## ■ 青山学院(三木谷・代表理事、藤田・理事、熊谷・理事)

- ・モデレーターを交えたシンポジウム形式で実施。
- ・学生だけでなく、一般にも広く開放。

## ◇講師のことは

- 奥谷禮子・幹事  
「経営は特に、人とは違うことをやり、常に新しいものを生み出していくことが必要。」
- 内藤裕紀・幹事  
「キャリアプランとは、**雪だるまをつくること**。昔の成功体験や喜びの記憶を思い出し、それを転がして行って、どんどん雪だるまを大きくしていく。これが**自己実現に向けてキャリアを積んでいくこと**。」
- 三木谷浩史・代表理事  
「今見ている未来は本当の未来ではなく、技術革新・イノベーションによって**全く違う未来**が来る。」
- 藤田晋・理事  
「成功とは、**自分の自由**を手に入れること。」
- 熊谷正寿・理事  
「ビジネスはルールさえ知れば**世界で最も面白いゲーム**。」

## ◇起業家教育の課題

- 「起業家教育＝金儲けのための教育」との誤解  
⇒ 必要性の認識が薄く、関心も高くない



- 起業家教育がなぜ必要なのかの位置付けの明確化と啓発活動
- 学校側と企業側等をつなぐ仲介機能の強化
- 自治体首長レベルを巻き込んだムーブメントの醸成

---

参考資料：これまでの出張授業の概要

# 品川女学院出張授業＜2014年6月27日＞ 概要①

## ＜概要＞

- 奥谷禮子・幹事（株式会社ザ・アール会長）が、起業に関心のある生徒40名程度を対象に起業の魅力や心構えなどを語り、その後、生徒が「女性がどうすればリーダーシップを身につけられるのか」について、グループディスカッション及びプレゼンテーション。

## ＜学校側の開催意図・評価＞

- 品川女学院では、一人ひとりの創造性を上げるため起業家教育に取り組んでいる。中でも、特に「社会人との協働」が重要と考えており、新経連から代表的な女性起業家にお越しいただいた。
- 生徒たちに、今の勉強がどのように社会とつながっているかを教えるにあたり、生徒から見たロールモデルになるような方に来ていただいた。



# 品川女学院出張授業〈2014年6月27日〉 概要②

## 〈講演要旨〉

- 経営は男も女も関係ない。結果が全て。
- これがやりたい、これはやりたくない、と口だけで言っているだけでも駄目。重要なのは、やるかやらないか。
- 楽な仕事など一つもない。経営は特に、人とは違うことをやり、常に新しいものを生み出していくことが必要。
- 1000社起業されたら、そのうち生き残るのは3社程度。0.3%に入るかどうか、という世界。起業家はみんな、夢を賭け、これにチャレンジしている。

## 〈生徒たちのプレゼンテーション・意見〉

- リーダーは周りから自己中心的と思われるでも、それを上回るような突き抜けた意思の強さがあり、この人に付いていきたい、と思わせることのできる魅力が必要。
- リーダーには積極性・コミュニケーション能力などの能力が必要。また、周りから刺激を受けてリーダー自身も成長していく。



# 海城出張授業＜2014年11月22日＞ 概要①

## ＜概要＞

- 内藤・幹事（株式会社ドリコム社長）が、自身の母校である海城高等学校にて高校1年生400名程度を対象として講演。講演は「なぜ働くのか」「どのように考えて起業したのか」という観点から進められ、内藤幹事自身の「やりたいことの原点」の話や、学生生活から起業に至るまでの経験の中で学んだことなどが語られた。

## ＜学校側の開催意図・評価＞

- 1年生対象の「キャリアガイダンス講演会」として開催。
- 生徒が将来を考える1つの材料として企画。
- 内藤さんご自身の体験談を中心に、海城高校時代の思い出から、大学時代に起業し現在に至るまでを、率直かつ熱っぽく、楽しい話題を交えながら、話していただいた。
- この講演会によって、生徒一人ひとりの心に、何か新しい「志」の火が灯ったとしたら、大変嬉しく思う。



# 海城出張授業<2014年11月22日> 概要②

## <講演要旨>

- こういうものがあれば便利、といった絵を描き、それを目指して事業を始めるのが「起業」。未来をつくっていくのが社長の仕事。
- キャリアプランとは、雪だるまをつくること。昔の成功体験や喜びの記憶を思い出し、それを転がして行って、どんどん雪だるまを大きくしていく。これが自己実現に向けてキャリアを積んでいく、ということ。人はいきなり何かができる訳ではなく、経験が積み重なって成長していく。
- 勉強する意味。それは、問題を設定する力、問題の解決策を考えられる力、問題を解決できる力（実行力）の三点を養うため。
- 自分に出来るか自信がない時、称賛されたこと、悔しいと思ったこと、を思い出し、かつ、自分で自分にタガをはめないこと、が重要。
- できる前提で物事を考えると世界が開ける。できないと決めつけない。まず、一步を踏み出すことが必要。

# 海城出張授業＜2014年11月22日＞ 概要③

## ＜生徒の反応＞

- 将来何かを発明したいという夢があるが、内藤さんの話を聞いて、とにかく自分を信じ、一人でも多くの人に情熱が伝わるように努力したいと思った。
- 景気動向を心配するより、自分が社会に出て日本の経済をよくするのだ、というくらいの気概を持てばいいのだと感じた。
- 今ある仕事が6年後には存在していないかもしれない、と聞き、何も考えずに漠然と大会社だけ、既存の仕事だけを選択肢にすることの危険性を感じた。今ある仕事がなくなるとすると、それに代わる新しい仕事を作り出すことが、社会にプラスになるのではないか。そう考えると、起業して社会に貢献していくことが、自分にとって将来の選択肢の一つとなった。
- 「雪だるま」の話を聞き、たくさんの情報を取り入れようと焦るのではなく、落ち着いてもう一度自分の過去や経験を見つめ直し、じっくりやりたいことを考えていきたいと思った。



# 青山学院出張授業＜2014年12月13日＞ 概要①

## ＜概要＞

- 三木谷浩史・代表理事(楽天株式会社社長)、藤田晋・理事(株式会社サイバーエージェント社長)、熊谷正寿・理事(GMOインターネット株式会社社長)が青山学院にて講演。
- 聴衆は大学生に限らず、広く一般に開放。会は、フリーアナウンサーの小林麻耶氏をモデレーターとし、小林氏の質問に三名が答える形で進化した。
- 「常に挑戦」「夢を持ち続ける」をテーマに、三名からは自らの経験に基づいた起業のすすめや生き方の教えが語られ、会場からも「人生の分岐点」や「成功の要因」など、意欲的な質問が多数寄せられた。



# 青山学院出張授業＜2014年12月13日＞ 概要②

## ＜学校側の開催意図・評価＞

- 青山学院創立140周年の記念イベントの一つとして開催＜イベントタイトル：「挑戦する君たちへ～夢を追い続ける3人からのメッセージ～」＞
- 140周年記念イベントの中でも会場が満席になったのはこれだけであり、生中継をした第二会場まで満席であった。著名な三名が揃って講演することは極めて稀であり、注目度が非常に高かった。
- 「挑戦する君たちへ～夢を追い続ける3人からのメッセージ～」というタイトル通り、夢を持ち、常に挑戦することの大切さを思い直すことのできる良い機会であった。



# Hello, Future!



# 新經濟連盟



Japan Association of New Economy